



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima



ロータリーのマジック

RI会長 ステファニー A. アーチック

第2570地区ガバナー 五十幡和彦

第3グループガバナー補佐 倉片順司

入って良かったロータリー

第3160例会 2025. 3. 5

—— 水と衛生月間 ——

天候 雨 (NO. 61-37)

会長 森 健二 幹事 大崎光二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 小崎君、平沼君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 森会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 沢辺職業奉仕委員
- ・卓話 関田賢二様

【入会式】

◎新入会員紹介 半田君

吉田茂彦(よしだしげひこ) 会員

S 35年、飯能市八幡町のお生まれ。飯能第一小学校、飯能西中学校、所沢高校から東京の私立大学へ進学。S 58年、東京国税局入局。法人の調査、法人税法の審議をされました。その後、東京国税不服審判所で審査請求事案の調査取消等を担当。R 2年7月、渋谷税務署特別調査官で定年退職されました。R 2年8月から税理士となり、同時に「FPマネースクール」を立ち上げ、現在4人の主任研究員の一人だそうです。同じ税理士でも私とは違って著書があり、『図解法人税』(H 15年版)等、5冊(共著含む)を出されています。明治大学大学院のテキストの監修もされているそうです。

◎吉田(茂)会員挨拶

創立60年という長い伝統のある飯能RC



様に入会させて頂きまして感謝申し上げます。皆様のように奉仕の精神で貢献していければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

◎森会長よりバッジ装着／歓迎の言葉／誓いの言葉／森会長よりRCの額・四つのテスト・バナー贈呈／高橋RC情報委員長より資料贈呈／大崎幹事より会員証贈呈・所属発表「出席向上」／記念撮影／乾杯：木川パスト会長



理事会の様子

【会長報告】

理事会では60周年記念式典と親睦旅行について説明があり、承認されました。ご参加の程よろしくお願ひ致します。吉田さん、出席の方だけ、よろしくお願ひします。

昨日は記念誌の編集会議が19時半から予定されていて、川口委員長には美杉台公民館を取って頂いて準備万端整っていたのですが雪が降ってしまい、誰もあの坂を上れないだろうというので中止になりました。お手数をかけますが改めて設定をお願ひします。

今日は啓蟄。二十四節気の一つで、虫やへび、カエルがやっと土から顔を出す、冬が終わって春が近づいていますよということなのですが、今日は本当に寒くて、まだ春は遠いのかなと思います。次は春分で、やっとそこで春になるのかなという気が致します。

地区の財団寄付金について、地区の会議で所沢RCが表彰されました。1人当たり210ドルを超える寄付金があると財団補助金が満額貰えるのですね。第3グループでは飯能が断トツのトップでした。地区49クラブの中では本庄RCが第1位、行田さくらRCが第2位。ほかに上に3クラブあるのですが、いずれも3、4名のクラブなので1人が高額寄付すれば上位になってしまう。60数名が在籍するクラブの中では実質的に飯能がトップなのかなと思いました。昨日大崎幹事から「朗報です！」とお電話を頂き、本当に嬉しく思いました。1人当たり268ドル。210ドルの壁どころではなく、268ドルやったということで、次年度中里(忠)会長の時には財団補助金は満額の1,200ドル貰えるということで、せせらぎ杯はさらに発展するのかなと思います。

◎米山功労者マルチプル賞（4回）表彰式 新井景三会員



【幹事報告】

昨日の積雪の影響でご自宅を出るところが滑って危ないということで、今日は事務局の西川さんと西脇さんがお休みです。その代わり、昨日ヘリテイジさんにいらして、いつもと変わらないように全部セッティングして帰って頂きましたので滞りなく例会ができております。連絡事項等は私までお願ひ致します。

「ロータリー手帳」の申込み(3/6厳守)は明日までに事務局にFAXして下さい。

3月のRIレート1ドル150円。

【委員会報告】

◎60周年記念式典実行委員会 矢島(高)君

4/5式典に多くの方にご出席頂けること感謝申し上げます。開式15時ですが、記念撮影を14時15分から行うため、14時には必ず6階にご集合、ご登録をお済ませ下さい。ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

◎60周年記念誌委員会 町田君

会員名簿に掲載する写真は本日が締切。大至急、文化新聞または私までお送り下さい。

【セミナー報告】

◎次年度ロータリー財団委員会 小川君

会長からご案内があったとおり、当クラブの一人当たりの平均寄付額は268ドル。非常に良い数字です。何が良いかと言うと、財団には世界規模の大きなプロジェクトもありますが、各クラブで行える小さなプロジェクトにも寄付金が出ます。当クラブでは卓球大会を毎年やっておりますが、これに地区から今年は1,080ドル、次年度は満額1,200ドルの補助金が頂ける予定です。次年度も皆様のご協力とさらなるご寄付が頂けたらと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

◎RLIの報告 都築君

2/8、RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）の研修に出席。小グループの討論形式で、いろいろ考えさせられることができました。出席者の中には入会3か月から3年未満の方もずいぶんいらっしゃったので、飯能からも入会間もない会員が出席されたいのかなと思います。



【出席報告】無届欠席0 鈴木(勝)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
68名	4名	60名	88.24%

【M U】

3/1 (地区) 小川君、大崎君、中里(忠)君

【結婚・誕生日祝】 小崎親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

中里(昌)君、市川君

◇結婚記念日おめでとう

鎌田君、川口君、矢島(高)君、本間君
鳥居君、服部君、吉田(行)君、井上君

◇会員誕生日おめでとう

大野(康)君、小川君、鳥居君、内沼君
前島君

◇夫人誕生日おめでとう

原島夫人、神田夫人、吉島夫人
伊澤夫人、吉澤夫人、鎌田夫人
鈴木(康)夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・吉田様、入会おめでとうございます。これからは仲間としてよろしくお願ひします。
森会長
 - ・関田様、本日は卓話よろしくお願ひします。
沢辺君、鳥居君、矢島(高)君、鈴木(康)君
 - ・結婚記念日お祝ひ有難うございます。
矢島(高)君、吉田(行)君、服部君、川口君
鳥居君、本間君、佐々木君、鎌田君
 - ・妻の誕生日お祝ひ有難うございます。
鈴木(康)君、吉島君、神田君、伊澤君
吉澤君、佐々木君、鎌田君、原島君
 - ・誕生日お祝ひ有難うございます。
細田(吉)君、小川君、大野(康)君、前島君
内沼君、鳥居君
 - ・入会記念日お祝ひ有難うございます。
細田(吉)君、中里(昌)君
 - ・早退します。 吉島君、神田君
 - ・メツァに3/1 現代美術をテーマにしたハイパーミュージアムを開業しました。宮沢湖に15mの猫のオブジェが浮かんでいます。ぜひ皆さんでお越し下さい。望月君
本日計108,000円、累計額1,064,146円。
- ◎19日例会当番は望月、安藤会員です。

【卓話】

講師紹介 鳥居環境保全委員長

1970年生まれ。日高市のご出身です。H6年4月、飯能市役所入庁。職員課、選挙管理委員会、所沢市広域消防課、飯能市シルバー人材センターを経て、R3年度より環境緑水課課長をお務めです。

地球温暖化への取り組みについて

飯能市 環境経済部 環境緑水課 課長

関田 賢二様



日頃から飯能市政にご理解ご協力を頂き誠に有難うございます。貴重なお時間を頂いて、飯能市を代表するそうそうたるメンバーの前でお話できるということで大変緊張しております。

先週の日曜日はすごく暖かかったですよね。ホームセンターに行ったのですが、もう半袖の方がいらっしゃいました。一転して月曜日からは極端に寒くなり、今日も雪が降るということで体調を崩される方もいらっしゃるかと思います。どうぞお気をつけ下さい。寒い日が続くと忘れがちになりますが、半年前はすごく暑かったことを覚えていらっしゃいますでしょうか。昨年の夏の気温は一昨年の夏に並ぶ、観測史上第1位の高温でした。また、昨年の年間平均気温は過去30年の平均を1.48℃上回り、明治31年の統計開始以来、最も高かったとのこと。着々と温暖化が進んでおります。

ご存じの方も多いと思いますが、おさらいという意味でも、本日は身近に感じるようになってきた地球温暖化について説明をさせていただきます。

はじめに、温暖化の原因と言われる温室効果ガスとは何かということになりますが、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄、三フッ化窒素。この7種類を国が規定しています。この中で、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄、三フッ化窒素は半導体製造で使うもので、一般の方が

出すことはまずありません。ハイドロフルオロカーボン類は車のエアコンのガスに使われるもの。メタン、一酸化二窒素は車の排ガス、し尿処理等が出てきます。この中では**二酸化炭素**が圧倒的に多く、9割を超える割合になっております。

地球における**温室効果ガスの役割**は、太陽からの熱が地表面で反射し、その熱の一部を吸収することで空気を温め、地表からの熱が逃げ過ぎないようにしております。身近な例えではビニールハウスの中のイメージです。そのため、温室効果ガスが無くなってしまうと、地球の平均気温は氷点下19℃まで下がると考えられています。温室効果ガスは地球温暖化の原因でもあります。一方で地球を暖かく保ち、多くの生物に棲みやすい環境を与える、地球にとって無くてはならないガスでもあります。

次に、**地球温暖化の始まり**ですが、18～19世紀頃と言われております。産業革命以降、工場等の燃料として石炭を利用したことで、二酸化炭素の排出量が急速に増加しています。また、第二次世界大戦後、中東やアフリカで相次いで油田が発見され、自動車の普及により石油が燃料として使用されるようになります。石炭と比べて安く安定的に供給でき、利便性も高いことから、石炭から石油へのエネルギー転換が進みました（**エネルギー革命**）。一方で、幅広い地域で産出される石炭も使用が増え、石油、天然ガスの需要も加わり、二酸化炭素の排出量は現在さらに上昇していることとなります。

次に、**世界の平均気温の上昇**について分析してみます。このグラフは1850～1900年の世界の平均気温を基準に、毎年の平均気温との差を示したものです。実際の観測値は黒色の線です。紫の点線のように平均気温が上昇しているのが分かります。コンピューター上で仮想の地球を作ると、〈人間の影響がある場合の地球〉(茶色の線)と〈人間の影響無し地球〉(緑色の線)というシミュレーション結果になります。実際の観測値(黒色の線)と〈人間の影響がある場合の地球〉(茶色の線)の数値が近いことが分かりました。昨年、国連機関のIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が発表した「第6次報告書」は、「**人間の影響による温暖化は疑う余地が無い**」となって

います。それまでは「非常に高い」「極めて高い」というぼやかした言い方だったのですが、初めて、原因が人間にあると断言する表現に変わりました。この報告書では、世界の気温上昇予想として、今後、地球温暖化への対策をしない場合には、2100年頃までに最大5.7℃、平均4.4℃の上昇が起きると予想されております。全世界でしっかりと対策をした場合でも、2100年までに最大1.8℃、平均で1.4℃の上昇が起きると予想されており、いずれにしろ世界の気温上昇は避けられないと分析されています。

次に、地球温暖化の影響と言われる**世界の自然災害の件数**です。1980～2018年の世界の自然災害の件数をまとめたグラフです。オレンジ色の線が世界の自然災害の総件数で、40年間で約3.4倍に増加しています。内訳としては、洪水(青色の線)、台風(緑色の線)が増加しており、台風の大型化、集中豪雨が原因として考えられます。余談ですが、昨年8月29日に鹿児島県に上陸した台風10号は大変速度の遅いのろのろ台風でしたが、中心から離れた関東でも集中豪雨が発生して、飯能市にも豪雨をもたらしました。気象庁アメダスの観測値によると、8月29日午後6時から30日午前10時までの雨量は、県内で飯能が一番多く230.5mm。1時間当たりの最大雨量も29日午後9時に47.5mmを記録しています。私は帰宅途中で車に乗っていたのですが、ワイパーが間に合わず、数メートル先がよく見えないといった体験をさせていただきました。

昨年10月に米国・フロリダに上陸したハリケーン「ミルトン」は大西洋における観測史上5番目の強さで、風速は44m/s。これは、MLB・レイズの本拠地のドーム球場の屋根が飛ばされた写真です。

1月に発生したロサンゼルスの山林火災は約1か月間、火災が続いておりました。直接の原因は不明とのことですが、地球温暖化による干ばつが被害を大きくしたとの報道もありました。

現在も燃焼が続く、岩手県大船渡市の山林火災も乾燥と強風で広がったとのこと。市の面積の8%が消失し、避難住民は4千人超。本日、ちょうど今頃から雪または雨との予報が大船渡市に出ているそうなので、鎮

火することを願っているところです。

身近な気候変動として、**埼玉県における温暖化の影響**と見られる事例を4点挙げます。

1. 埼玉県の平均気温の上昇

熊谷地方気象台の年平均気温の推移を見ますと、観測が開始された1897年から2023年までの平均気温の上昇は100年当たり2.3℃でしたが、1980年以降の平均気温は100年当たり5.1℃と、2倍以上上昇しております。

2. 埼玉県の二酸化炭素濃度の推移

ときがわ町と東秩父村の境にある堂平山で県は二酸化炭素濃度の観測をずっと続けています。結果を見ると、この30年間、毎年約2ppm上昇しています。2ppmは0.0002%で、それ程高い数値ではないのですが、二酸化炭素が年々上昇しているのがはっきりと数値で分かるということになります。

3. 埼玉県の熱中症搬送者数

2009年までは毎年1,000人程度だったのが2010～2017年には約3,200人。2018年以降は約4,500人と増加しております。ただし、「熱中症かな？」というところで早めに救急車を呼んで手当てできているようで、死亡者数はそれ程増えていないようです。

4. 埼玉県の1時間当たり50mm以上の雨量の推移

傘を開いた時の面積がおおむね1㎡と言われております。1時間傘をさしていると、1リットルの牛乳パック50本分の雨が傘に当たるイメージです。昨年私が飯能市で体験した、ワイパーが役に立たない雨量でも47.5mmなので、さすがにそのように降ると、なかなか行動が難しくなるということが分かります。この50mm以上の豪雨が2010年までは年間約2.5回の発生だったのが、2016年以降は年間約4回発生しております。

このように、身近な事例を見ても、温暖化の影響が進んでいることが分かります。

先程、地球温暖化について何も対策を行わないと最大で5.7℃の気温上昇があると説明させて頂きましたが、埼玉県でも、地球温暖化について何も対策を行わなければ、今世紀末に最大で約4.3℃の気温上昇があると予想されています。

気温上昇への対応をしないと、**人間の健康被害に加え、農作物等への影響**も顕著になっていくと考えられています。

温暖化対策として何をすべきなのか。

国、埼玉県、飯能市の目標を見てみます。

国では、R2年10月26日に開会した臨時国会の所信表明演説で当時の菅首相が、国内の温暖化ガスの排出を**2050年までに実質0**とする方針を表明しました。また、R3年4月には2030年度に温室効果ガスを**2013年度から46%削減**することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていくと、**中間目標の設定**をしました。

この中間目標の設定により、埼玉県でも国の目標に合わせ、R5年3月に**46%削減**に目標を引き上げております。

飯能市ではR3年2月15日に、所沢・飯能・狭山・入間・日高のダイアプラン5市で**ゼロカーボンシティ共同宣言**をし、**2050年度までの温室効果ガス実質0**を目指すことになりました。また、飯能市はR5年3月に、温暖化対策の計画として「**飯能市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）**」を策定し、2030年度までの飯能市の区域から排出される温室効果ガスを、国・県の目標より高い、2013年度に比べ**48.9%以上削減**することを決めております。

具体的にはどのような温暖化対策が取られるのでしょうか。国・県・市で共通する対策には「緩和策」と「適応策」の2つがあります。

「**緩和策**」は、直接、温室効果ガスを減らす対策です。例えば、節電や省エネ、電気自動車の導入、太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用などが挙げられます。これらに共通するのは「**化石燃料由来のエネルギー使用量を減らす**」ということです。しかし「緩和策」をすぐに実行しても効果が表れるには時間がかかります。今日緩和策をやったからと言って来年猛暑が無くなるわけではありません。すでに発生している、あるいは、これから起こる温暖化への対策として「我々が温暖化に慣れていく」「災害への対策を準備していく」。これがもう一つの対策「**適応策**」になります。例えば、熱中症等への対策や土砂災害、水害に備えるための対策などが挙げられます。

「**緩和策**」を詳しく見てみます。目指すのは、温室効果ガスの9割を占める二酸化炭素の原因である、化石燃料由来の電気・ガス・

プラスチックの使用を如何に抑えられるかという点になります。このため、工場や発電所で化石燃料を減らす取り組みが求められており、これを解決するために太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用や技術革新による省エネ性能の向上、最少の化石燃料での効率の良い発電や商品製造が求められています。

「表」は国が定める温室効果ガス7種で、赤線で囲んだ4種のうち、市民や企業に最も関わりがあるのが二酸化炭素であり、この排出量を減らすことが我々に求められています。

二酸化炭素削減の有効な手段について。

1つ目は太陽光パネルの設置等、再生可能エネルギーの使用を増やすことです。市では、住宅に設置する**太陽光発電への補助金**をH22年度から実施しており、これまでに約1,250軒、総額約1億円を補助しています。

2つ目は電気をこまめに切る、エアコンの温度を見直す、最新の家電製品に買い替える等の省エネ行動の実践によって電気の消費量を減らすということです。昨年度、市では国の補助を受けて、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫等の**買い替えを対象に最大3万円、総額700万円の補助**を実施しました。10年前の商品と比べてエアコンの消費電力は約10%、冷蔵庫に至っては約40%の削減となり買い替えるだけで十分な省エネに繋がります。

また、二酸化炭素を吸収する**森林の活用**も重要になります。樹木は光合成により二酸化炭素を吸収し、木の内部に蓄えることで成長します。飯能市の75%は森林で、吸収している二酸化炭素の量は約35,000トンと推測されます。この量は飯能市全体で排出する二酸化炭素の約8%に相当します。この量を増やすためには、吸収量の少ない成長した樹木を伐採して、二酸化炭素を貯蔵したまま木材として利用する一方で、新たに苗木を植樹・植林して、二酸化炭素の吸収源を増やす取り組みが重要になります。飯能市は2050年に温室効果ガス排出量の実質0を宣言しました。この**実質0とは二酸化炭素の排出量から森林の吸収量を引いて0にすることで**、これを「カーボンニュートラル」と言います。

改めて飯能市の目標を見てみます。

「2050年カーボンニュートラル」に向けた中

間目標として、R12(2030)年までに、基準年度となるH25年度比で**48.9%削減**するという目標になります。また、2050年には森林吸収量と相殺できるので、森林に8%の吸収量がもしあるのであれば、地域から出る排出量を8%まで削減すればトータルで「カーボンニュートラル」の達成ということになります。

次に、去年の現状を見てみましょう。R7年2月に埼玉県が発表したR4年度の県内市町村の排出量では、飯能市は基準年度となるH25年度比で32.1%の削減をすることができました。なお、本市は近隣の市に比べ、温室効果ガスの削減率が最も高く、県内40市の中でも2番目に高い結果となりました。中間目標の**48.9%**に到達するためには、**残り8年間で16.8%の削減**が必要になります。

皆様の一つ一つの脱炭素に向けた行動が削減目標の達成に繋がっていきますので、引き続きご協力をお願いします。



2025年4月のプログラム (月間テーマ 雑誌月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
4. 2	3169	卓話「日本有数の避暑地 軽井沢町の現状」 軽井沢町議会議員 利根川泰三様	馬場君 藤原君 [雑誌]
4. 9	3165	振替休会 (60周年記念式典)	
4.16	3166	夜間例会	福島君 細田(伴)君 [親睦活動]
4.23	3167	卓話「埼玉県 新年度予算について」 埼玉県議会議員 内沼博史会員	半田君 細田(吉)君 [会長・幹事]
4.30	3168	例会取消(祝日週)	